令和８年度開催報告　開催日：10月８日・27日／会場：筑西市役所

市長と語ろう！
ちくせい市政懇談会

設楽市長が市政の課題を市民のみなさんと一緒に考え、知恵を出し合う市政懇談会を開催しました。みなさんから今後の市政の参考となるような貴重なご意見・ご提案をいただきました。　【問】広報広聴戦略課（本庁４階）☎２４－２１７２


市民と意見を交換する設楽市長

テーマ　防犯灯・防犯カメラの設置、独居老人・要支援者の見守り

筑西市自治会連合会

自治会の防犯灯・防犯カメラの設置について

Q　雷で破損した防犯灯の修繕費用（工事費）について、市から補助を出せないか。

A　落雷により破損した防犯灯については、LED照明器具を提供している。工事費への補助については、他市町村の状況を踏まえ検討していきたい。

Q　防犯カメラ設置補助金の申請書類を簡素化できないか。

A　申請の際に必要となる自治会の規約などの書類は、申請者の情報や継続的な管理体制を確認するために提出をお願いしている。規約を作成していない団体は、市民安全課に相談していただき、団体の構成や管理体制を確認した上で必要な対応をとる。

独居老人・要支援者の見守りについて

Q　避難行動要支援者の見守りに関し、自治会と民生委員の役割分担や連携の基準を明確にできないか。

A　民生委員と自治会の連携は地域福祉の基盤であり、協力し合えるのが理想。「命を守る事が一番大切」という視点に立ち、平常時の見守り体制の強化や横の連携方法について今後さらに検討していきたい。

Q　高齢者等の緊急通報等サービスの利用料を無償化できないか。

A　緊急を要する際に必要なシステムであるため、今後の高齢者支援のあり方とあわせて検討する。



市政の課題や　地域のニーズを　共に考え　解決へ

テーマ　子どもたちを守る環境づくりをめざして

筑西市青少年相談員連絡協議会

Q　不審者情報について、防災無線で地域住民に広く知らせて対策を促すことはできないか。

A　地域住民に情報を知っていただくことが抑止力にもつながる。不審者情報が不確かな情報である場合もあるため、防災無線で周知するということの難しさがある。警察とも連携しながら、どのような方法が効果的か検討する。

Q　部活動に入っていない中学生などが気軽に集まれる居場所がほしい。

A　選択肢が増え、部活動に所属しない子どもが増える中、その子たちが気軽に集まれる場所も必要だと認識している。公共施設を子どもたちも安心して利用しやすくできるよう検討していきたい。



Q　青少年相談員の活動や制服の「黄色いジャンパーを、行政としてももっとアピールしてほしい。

A　相談員のみなさんが黄色いジャンパーを着て巡回するということは、子どもたちを危険から守るための大きな抑止力になっている。黄色のジャンパーを着た人は「子どもたちの味方」だと、子どもたち全員が知っているようにしたい。青少年相談員のみなさんの温かい見守りに深く感謝しつつ、後継者問題も含めてその重要性を伝えていけるよう取り組む。